

コンディションが落ちた今

私の住む北海道にも、いよいよ、寒くて長い冬の訪れです。訪れて来なくて良いのに毎年来るんです。そして、雪をお土産に。でも、ウインタースポーツを楽しむ方や、雪が無ければ商売に成らない、と言う方も居られるので、どっちもどっち、と言う事でしょう。

私はウインタースポーツはやらないので、雪や寒いのは苦手です。アマチュア無線を趣味としている方、特にUHF帯やSHF帯を運用されている局は、冬の季節は、電波の飛びも悪く、急にアクティビティーが下がるんですよ。HF帯やVHFでも50Mhz帯で頑張ってる局には然程の寂しさは有りませんがネ、「取り合えず飛んで呉れて居ますよ」の答えが帰って来ます。

144, 430, 1200、等高い周波数で頑張ってる局、特にDXを追っかけている局にはシーズンが終わった途端「イヤ～飛ばなく成ったナ～ローカルでラグってるよ、後は冬籠りだネ」とシーズンが開けるまでおとなしく……4月から10月迄位が一般的にUHF帯では、シーズンと言われて居ます。

北海道の場合、本州方面から比べると、1ヶ月から2ヶ月のズレが有る様で、VUの電波が遠くに届くには5月以降の温かく成る頃です。この事を考えれば、電波の飛びも温度に影響されるようですね。移動運用されている局なら、「まだ、山に雪が残ってるよ」で、昨シーズン移動に使って居たアンテナの整備や、不便と思った所の改造やらに時間をつぶして、来シーズンに夢を走らせて居る事でしょう。

本州に比べると、長い冬籠り、そう、ラグチューも良いけれど、工作なんかは如何でしょう。温かい部屋の中でも出来る物、移動先でCQ/CQを叫べど、応答が中々来ない、なんて事も有り、ついには声が枯れるまで…じゃ、CQマシーンなんて如何？お馴染みの秋月電子通商で売られている、ボイスメモリーのキット、これ、結構使い物に成る、これ¥1000、自分の声をメモリーして、しかも30秒間録音できる。

もう少し高い物は、3～6種類の声を録音出来る。確かに再生音には少し問題は有るが、手を加えれば立派な物、固定からのパターン、移動先からのパターンとそれぞれ違ったCQをメモリーして、SWで切り替えて使い分けが出来る。モニターも出来る、パーツはすべて揃っているの、プリントされた基板にパーツを半田付けするだけ、出来上がれば適当なケースに入れて完成。ケースは付属されて居ないが¥100均のタッパーやプラ箱でも間に合う、来シーズンからは、大声を出さなくても、勝手にCQを掛けて呉れる。アドニスから出て居る物は結構なお値段、自作は金が掛からない、何でもそうだが、自作は半分以上で出来ます。「そんなの、スグに出来ちゃうよ」工作の熟れた方なら一日で出来上がる。

それじゃ、もっと、長い時間楽しめる自作のアンテナは如何？これなら暫くは工作が楽しめる。前者は半田鋸とニッパーさえ有れば出来るが、アンテナはそうは行かない。ドリルや錐先や、金切り鋸、スケール、ハンマー、差金、…他etc…、工具を揃えるのが大変だけど、工具は大事に使えばいつまでも使える、いわば、アマチュアの財産で有る。足りない工具が有れば、その都度買い足していけば、気が付けば、「何でも有るよ」に成る。どっちにしろ冬は長いので有る。暫くは工作で退屈はしないだろう。同じ作るなら、移動運用で組み立てに手間の掛からない、簡単に組み立て出来るアンテナはどうだろう。

大きなアンテナから、小さなアンテナまで、自分の移動に合った物を選べば良いでしょう。アイデアをフルに活かせば、メーカーの組み立てに時間のかかる物から解放されるし、移動先で苦勞して組み立てる事からも解放される。余計なコネクターも省いてロスも少なく出来る。又、重量も軽く仕上げられる。SSBで運用される局は、SSBの周波数に併せたアンテナも可能だし、その周波数に対しては最高のゲインで調整出来る。自作アンテナから電波を出す醍醐味は一味違って来る。来シーズンは自作と行きたいものですネ。「アンテナって、そう簡単に出来るの？」難しく考えないで下さい。アンテナって、今やDXerは、殆どが自作のアンテナなんです。その方がメーカーのアンテナより飛ぶんですよ。買い求める値段よりはるかに安く、出来上がり、メーカー品より簡単に組み立てられるように工夫されていますよ。資料は、ベテラン勢が、NETで沢山公開されています。